

様式4の2

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立倉吉東高等学校
 学校長 福光 浩

評 価 日	令和6年2月27日 (火)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 重点目標の達成状況について</p> <p>(1) 学校の魅力化・特色化の推進・発信と中高連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の高校入試では、久々に募集定員を上回る志願者があったと聞いた。これはIB教育の魅力が地域に広がったことによるものではないか。 ・魅力的な活動は多いが、それを発信する東高HPの使い勝手が悪く、魅力が十分に伝わらない。先進的な取組みを参考にして、東高のHPを改善してはどうか。 <p>(2) 生徒支援の充実と業務改善の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方一人当たりの時間外業務は昨年から微増とのことだが、部活動は時間業務に入るのか。入るのなら、部活動に生きがいを感じ、部活を通じて積極的に生徒に関わりたいという先生に対し、一律に時間外業務の規制をするのは如何なものか。 <p>2 目標達成のための取組結果について</p> <p>(1) 総合的な探究の時間の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IB系を選択者の学び以外にも、教育活動全般にIBの要素が取り入れられており、素晴らしい。1年生の「総合的な探究の時間」で取り組んでいる「TOK展示」とはどのような取組みか。 <p>(2) 定時制教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「定時制の生徒のアルバイトの参加率が上がった」という報告があったが、その原因をどのように分析しているか。 ・定時制はクロームブックの個人負担はあるのか。定時制ではクロームブックをどのように活用しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それも一因と考えている。様々な機会をとらえてIBの話をしたり、日本海新聞に「IB特集号」を発行したことが効果的だった。 ・学校独自のHPを作るのは予算面で難しいが、県の様式をベースに改良を加え、構成や内容面での工夫を行っていきたい。 ・部活動の指導も時間外業務に入る。高校の部活は地域移行が遅れており、外部指導者の確保も難しいことから、現在対応を模索しているところである。 ・「知の獲得」や「知の本質」に関するテーマを設定し、それに関連する写真を示し展示して、自分の考えを発表・討論する取組である。「EE」や「CAS」の要素も入っており、1年生の総括として実施した。 ・キャリアアドバイザーの協力が大きい。社会勉強の機会にもなっており、参加率の増加は好ましい。 ・貸与なので個人負担はない。定時制の生徒は、学力に応じた個別の課題に取り組むことで力をつけている。 	

<p>3 具体目標の達成状況について</p> <p>(1) 国際バカロレア (I B) 教育開始への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「I B教育開始への対応」に対する評価は「B」だが、資料や説明を通じてからは積極的な広報活動や、指導体制の充実が伺えた。「A」に上げてもいいのではないか。 <p>(2) 探究活動の進化と指導体制の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東高の探究活動は明確な目標設定の下で取組まれており、指導体制も学校の課題に柔軟に対応し、改善されている。また、積極的に外部コンクールに挑戦する等の活動の成果も報告されている。探究学習の最終評価は「B」から「A」に上げてもいいのではないか。 <p>4 目標達成のために取り組んだ具体方策について</p> <p>(1) ボランティア活動を通じた中高連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の学習指導ボランティアに多くの生徒が参加したと聞いたが、このような取り組みは中学生にとって東高にあこがれるきっかけとなり、志願者の募集にもつながるのではないか。 <p>5 その他</p> <p>(1) 国際交流と地域理解の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の高校生徒の協同探究活動や、相互訪問などの国際交流に力を入れていることは素晴らしい。しかし、生徒個々の立ち位置となる「日本」や「鳥取」など、郷土についての学びももっと必要なのではないか。 <p>(2) 図書館の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館活用の工夫が必要ではないか。様々な取り組みを通じて来館者数を増やすことも重要だが、生徒個人の図書館活用記録を作成し、学びや成長の軌跡を残していったらどうか。 <p>(3) 定時制の夜間給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の夜間給食は、食育の意味でもいい企画だと思う。しかし年間3回は少ない。なんとか回数を増やすことはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バカロレア1期生入学初年度の今季、指導を行う中で、克服すべき多くの課題が見えてきたため、今年は「B」評価としたい。 ・高い評価をいただき感謝する。達成できていない課題もたくさんあるので、今年度は「B」が妥当と考えていたが、「A」評価に変えさせていただく。 ・中高連携の大切さは十分認識しており、本校は中学生体験入学でも、生徒による説明の時間を多くとっている。今後も学習ボランティアのような取組に積極的に応募させ、連携を強化していきたい。 ・来年度の探究活動では地域のマンパワーのさらなる活用を計画しており、地元について知る機会、地域の課題を考える視点の育成に取り組んでいきたい。 ・今年度図書館にプロジェクタとスクリーンを整備した。ポートフォリオの必要性は理解しているが、その内容や活用に関しては今後の検討課題である。 ・今年度は入学生が予想以上に多かったため回数が制限された。来年度についても予算の増額が叶わず、年間3回実施の予定である。
---	--